



印刷して、紙の上でやってネ！

<p>1</p> <p>😊 $3 + (-7)$</p>	<p>7</p> <p>右の図は、ある地域の2010年3月と2024年3月の日平均気温をもとに、横軸を気温、縦軸を相対度数として度数分布多角形に表したものである。</p> <p>これらの度数分布多角形から、「日平均気温は、2010年3月より2024年3月の方が高い傾向にある」と主張することができる。このように主張することができる理由を、2つの度数分布多角形の特徴を比較して説明しなさい。</p>
<p>2</p> <p>😊 $\frac{4}{3} \div (-\frac{5}{12})$</p>	
<p>3</p> <p>x枚の折り紙を、1人に10枚ずつ y人に配ると4枚余る。このときの数量の関係を等式に表しなさい。</p>	
<p>4</p> <p>連立方程式 $\begin{cases} 4x + 7y = -2 \\ 3x - 2y = 13 \end{cases}$ を解きなさい。</p>	
<p>5</p> <p>$a = 15, b = 6$ のとき、次の式の値を求めなさい。</p> <p>$a^2 - 4ab + 4b^2$</p>	<p>8</p> <p>図1のような半円の形をしたピザがある。瑞希(みずき)さんは、包丁を使ってピザを6等分するためには、ピザのどの部分に切れ目を入れればよいか考え、図2をかいて調べることにした。</p> <p>図2において、点Oは半円の中心、線分ABは半円の直径を表している。点Oを通り、線分OAの方から順番に切れ目を入れていくとき、1つ目の切れ目にあたる直線OPを、コンパスと定規を使って作図しなさい。作図に用いた線は消さずに残しておくこと。</p> <p>ただし、点Pは弧ABとの交点とする。</p>
<p>6</p> <p>2つのさいころを同時に投げるとき、次のアとイでは、どちらの方が起こりやすいといえますか。起こりやすい方の記号と確率を答えなさい。</p> <p>ただし、2つのさいころの1から6の目は、どの目が出ることも同様に確からしいとする。</p> <p>ア 出る目の数の和が6である</p> <p>イ 出る目の数の積が6である</p>	<p>図2</p> 

